

P2

秘密指定解除

公文書監理室

20

秘
無期限

※総第 064881号001公館宛 GM5733-02

平成 3 年 6 月 26 日
18 時 15 分 22 秒 受付

電 信 案

電信課長代 67	大臣 秘書官 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アジア局長 審議官 参事官 北東アジア課長 地域調整官 首席事務官	※発電係 1 2 起案 平成 3 年 6 月 25 日 起案者 電話番号 香匠 2416
	協議先 合計 4 件 政策課長 7/2/25 付		

(注意) 1 枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

(80字)

在 韓 国	大使 総領事 あり	外務大臣 発
件名	在韓被爆者支援	
主管・文書記号	※電番	大至急 至急 普通 (優先処理)
了化	第1038号	パターン・コード
転電 転送 在 転報	※転電番号	大至急 至急 普通 (優先処理)
大使・総領事あり		
06488101 優先 KANKOKU F電		
GB-1	外務省	回覧番号

(昭和六二・六・三十改正)

1. 在韓被爆者支援については、客年5月の盧泰愚大統領訪日の際、海部総理より、今後医療面で総額40億円程度の支援を行なう旨意図表明され、右のフォローアップとして、今年度予算においてその一部17億円を計上したところ。

2. 当方としては、本件予算の韓国側への拠出を出来るだけ早く行ないたいと考えており、そのための具体的手続を進める必要があるところ、7月上旬(5日～9日)にも担当官(ア北及び経協政)を派遣し、その取り組み方等につき韓国政府との間で協議せしめたいと考えている(具体的出張者及び日程等については追電する)。

3. ついては、当方としては以下の点につき韓国側(外務部及び保社部)と協議・意見交換を行ないたいと考えているところ、右を先方に然るべく伝達し、協議の具体的日時の設定等調整の上、結果回電ありたい。

(1) 本件予算の拠出要領。(当方としては、平成元年・2年度に拠出した4200万円の支援の実績を踏まえ、拠出先を大韓赤十字社とし、両国政府間の口上書の交換及び大韓赤十字社との書簡の交換を行なうラインで手続を進めたいと考えており、協議の際に我が方案を提示する予定。)

(2) 韓国政府における「在韓被爆者支援計画」の現段階での検討状況。
(特に、健康福祉センター設立のための場所・規模・設計等具体的計画立案状況)

(3) 韓国政府が、昨年度実施を計画していた在韓被爆者実態調査の結果。
(平成4年度の本件予算要求のためにも、最新の実態に関するデータが必要。)

(了)